

特別支援教室 いちよう教室ってなあに？

いちよう教室は
自分に合った方法を相談して見付けたり
学習の仕方・行動のコントロールの仕方
を学んだりするところです。

なぜ『いちよう教室』というの？

関東大震災時の火災で『いちようの木が焼かれずに生き残った』ことから、いちようの木のように『さまざまな困難にも負けずに立ち向かえるようになって欲しい』という願いを込めていちよう教室と名前が付けられたそうです。

特別支援教室いちよう 教育目標

個に応じた支援と指導を行い、学校や社会において、自信をもって安定した生活を送ることができる

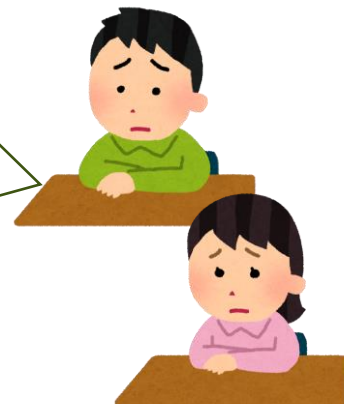
- ①児童が抱える困難さの背景や要因等を明らかにする
- ②在籍する学級の状況、他の児童との人間関係を十分に把握し、児童一人一人の困難さに応じた自立活動を実施する
- ③発達段階に応じて自己理解を進め、児童の自己肯定感を高める

特別支援教室いちょう 拠点校

～集団生活への適応、特定の学習に困難がある児童のための教室～

例えば

- ・初めての場所や人が不安
- ・特定のこだわりがある
- ・周りが気になって集中できない
- ・学校では、ほとんど話をしない
- ・他人とうまく関わるのが難しい
- ・みんなと一緒に行動ができない
- ・行動のコントロールが難しい
- ・読み書きに困難がある など



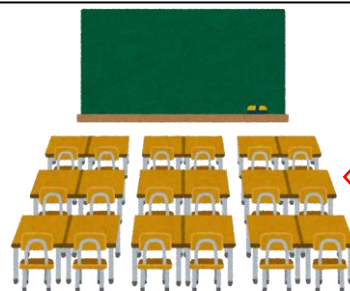
指導内容

入室後の流れ

個別指導計画の作成
児童の状況に応じた学習上又は生活上の
困難の改善・克服に向けた指導目標

個別指導計画に基づく
特別な指導

いちょう教室の指導: 自立活動
障害による学習上又は生活上の困難を
改善・克服するための指導
※教科の予習・補習や在籍学級での遅れを
取り戻す指導はしません



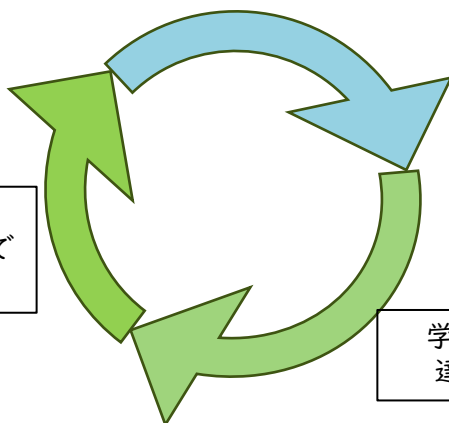
在籍学級
指導の工夫

連携・
情報共有



いちょう教室
自立活動の
指導

面談
保護者と学校とで
情報の共有



学期ごとの目標
達成状況確認

児童の在籍学級における困難の把握⇒困難に応じた指導の工夫、自立活動の指導

個別指導

【児童の課題に合わせた指導プログラム】

学校や日常生活でのつまずき

↓
原因を探る

↓
困難さの軽減



例) 注意集中、聞く、見る(ビジョントレーニング)

コミュニケーション

自己理解・自己コントロール

運動 など



小集団指導(2~8人程度の集団)

【集団への適応能力を伸ばす】

コミュニケーションの学習・運動の学習

↓
指示・ルール理解

↓
集団活動参加の練習



例) 対話の仕方、状況・雰囲気把握

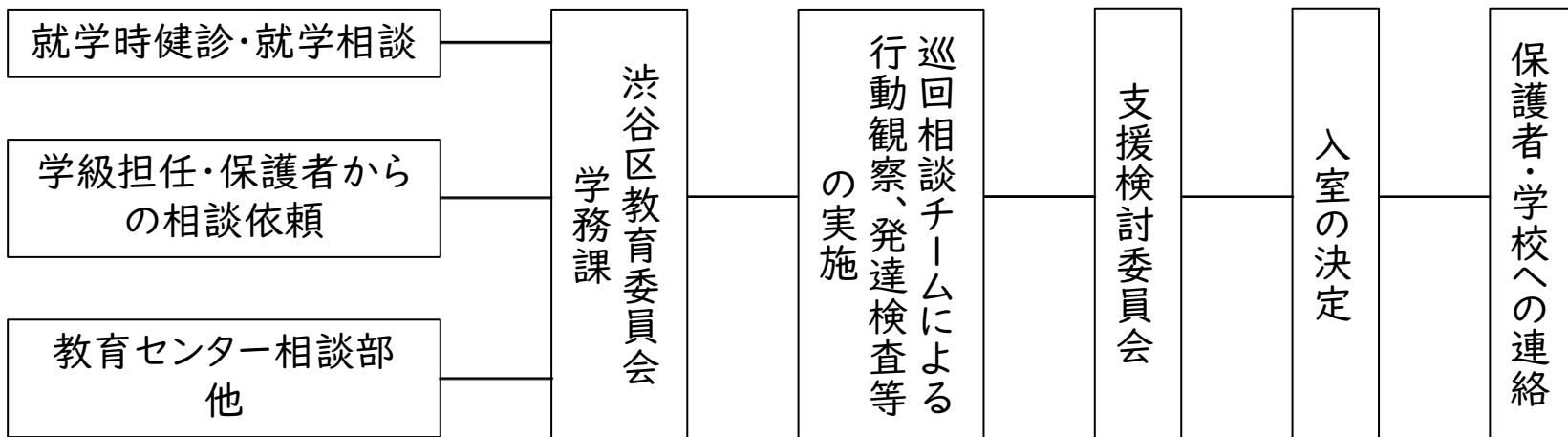
自己・他者理解、仲間との適切な関わり方

勝ち負けの受け入れ、微細運動、粗大運動

など



入室までの流れ



特別支援教室の様子



電話による相談

入室に関する相談…渋谷区教育委員会 学務課 特別支援教育係 03-3463-2993
お子様の様子で心配なこと…西原小学校(担任、いちよう教員) 03-3466-3351
ご心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。

西原小学校ホームページ『特別支援教室について』の
「東京都の特別支援教育について 渋谷区の特別支援教育について」も併せてご覧ください。

